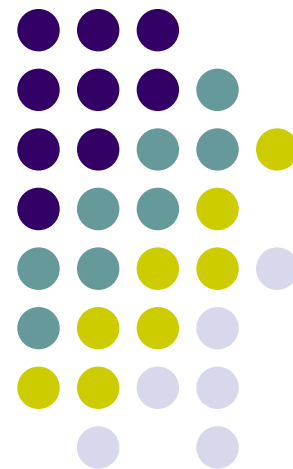


# 2019年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





# 目次

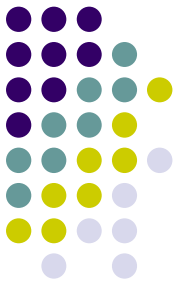
- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

# 会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

# 事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、好調な企業業績のもと、雇用情勢や所得環境が改善されるなかで、穏やかな回復基調が続いています。世界においては米中貿易摩擦の影響で輸出の低迷や減速感、英国のEU離脱を巡る混迷等、不安材料が与える影響等に留意が必要な状況になってきています。
- 当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比101.0%となりました。
- 段ボールシート59百万m<sup>2</sup>(前期比7.1%減)、段ボールケース38百万m<sup>2</sup>(前期比2.5%減)となりました。売上高は5,215百万円(前期比3.7%増)となりました。利益面におきましては、経常利益203百万円(前期比28.9%減)となり、当期純利益121百万円(前期比29.9%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



# 業績概要①

売上高:前期比3.7%増 経常利益:前期比28.9%減 当期純利益:前期比29.9%減

(単位:百万円)

	当期 (2019年3月期)	前期 (2018年3月期)	前期比率
売上高	5,215	5,029	3.7%
営業利益	201	283	-28.9%
経常利益	203	286	-28.9%
当期純利益	121	173	-29.9%
1株当たり当期純利益(円)	25.28	36.07	

# 業績概要②



総資産の主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものです。  
(自己資本比率69.9%)

(単位:千円)

資産の部	当期末 (2019年3月末)	前期末 (2018年3月末)
流動資産	4,870,346	4,936,472
現金及び預金	3,262,076	3,371,285
受取手形	501,568	493,631
売掛金	720,903	702,358
たな卸資産	375,738	355,535
その他流動資産	10,059	13,661
固定資産	2,610,725	2,566,062
有形固定資産	2,240,207	2,288,292
無形固定資産	10,583	12,577
投資その他の資産	359,933	265,192
資産合計	7,481,072	7,502,535

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (2019年3月末)	前期末 (2018年3月末)
流動負債	1,626,926	1,670,622
支払手形	1,095,463	1,027,982
買掛金	218,838	237,389
未払法人税等	40,009	40,468
その他の流動負債	272,616	364,782
固定負債	621,380	661,716
退職給付引当金	147,604	144,905
役員退職慰労引当金	421,694	411,560
その他	52,081	105,250
負債合計	2,248,307	2,332,338
純資産合計	5,232,764	5,170,196
負債・純資産合計	7,481,072	7,502,535



## 業績概要③

(単位:千円)

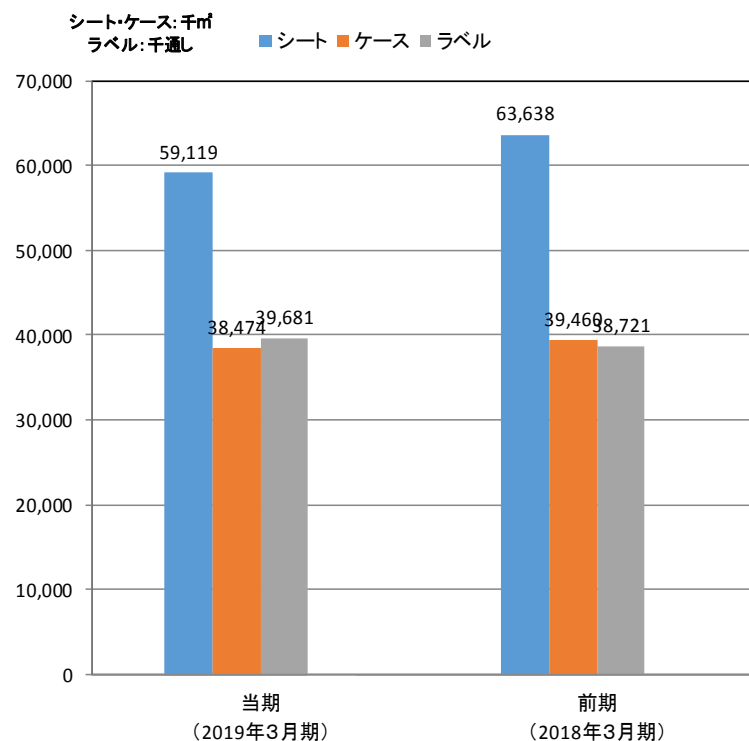
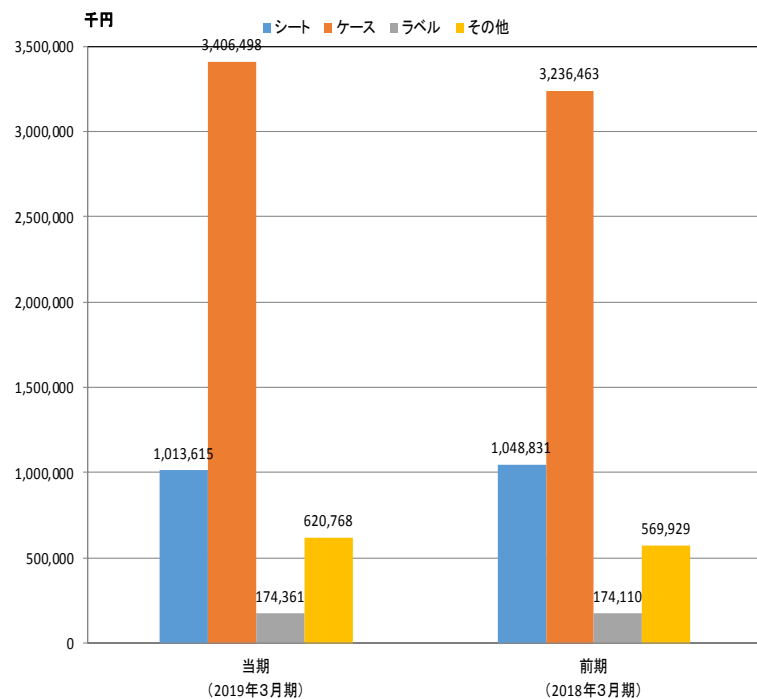
	当期 (2019年3月期)	前期 (2018年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	344,794	349,123
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 356,263	▲ 208,302
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 100,462	▲ 99,885
増減額(減少:▲)	▲ 111,930	40,934
現金及び現金同等物の 期首残高	3,141,803	3,100,868
現金及び現金同等物の 期末残高	3,029,872	3,141,803



# 品種別売上高及び生産実績

前年と比べてケース・ラベル・その他は売上増加、シートは売上減少となりました。

前年と比べてラベルは生産増加、シート・ケースは生産減少となりました。







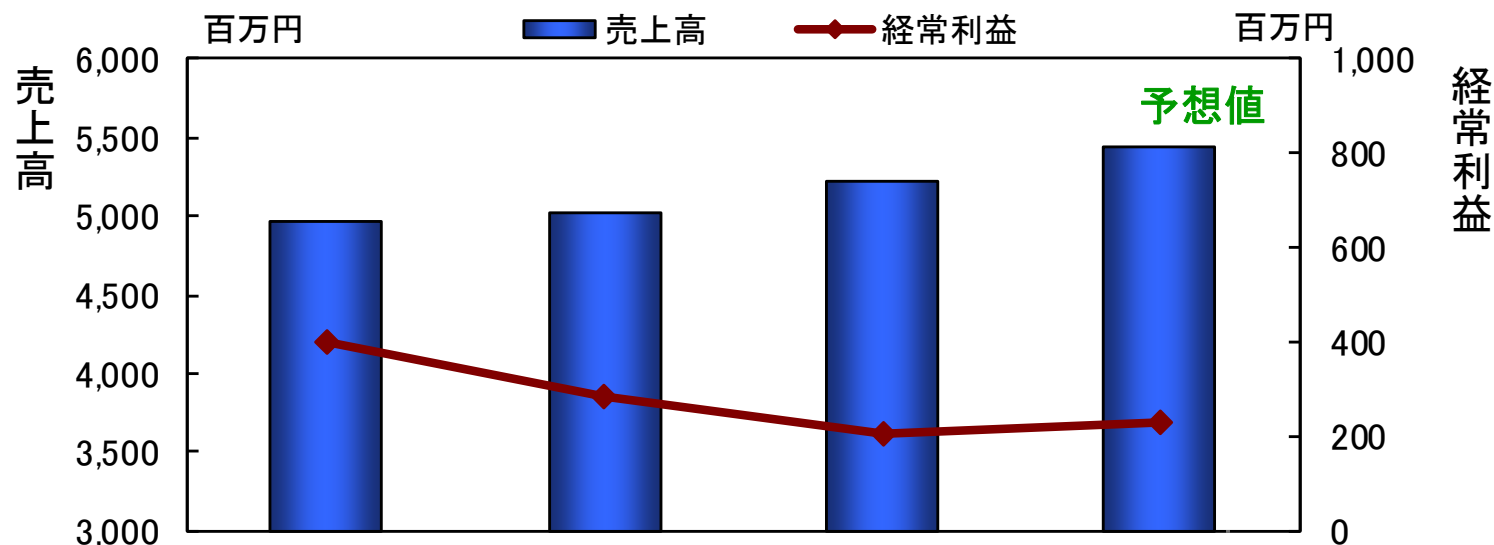
# 今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、政府の経済政策及び日銀の金融緩和も引き続き行われるものと思われ、日本経済も穏やかではあるものの成長も見込まれています。しかし、先行きにつきましては、米中貿易摩擦の問題が見通せないことや、アジア地域における地政学的リスク等により、不透明な状況で推移するものと思われまます。
- 当社の2020年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,442百万円(前期比4.4%増)、営業利益229百万円(同13.6%増)、経常利益228百万円(同12.5%増)及び当期純利益137百万円(同12.9%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。

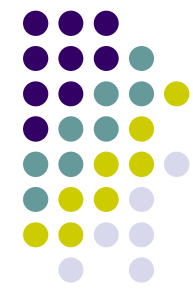


# 売上高および経常利益の見通し

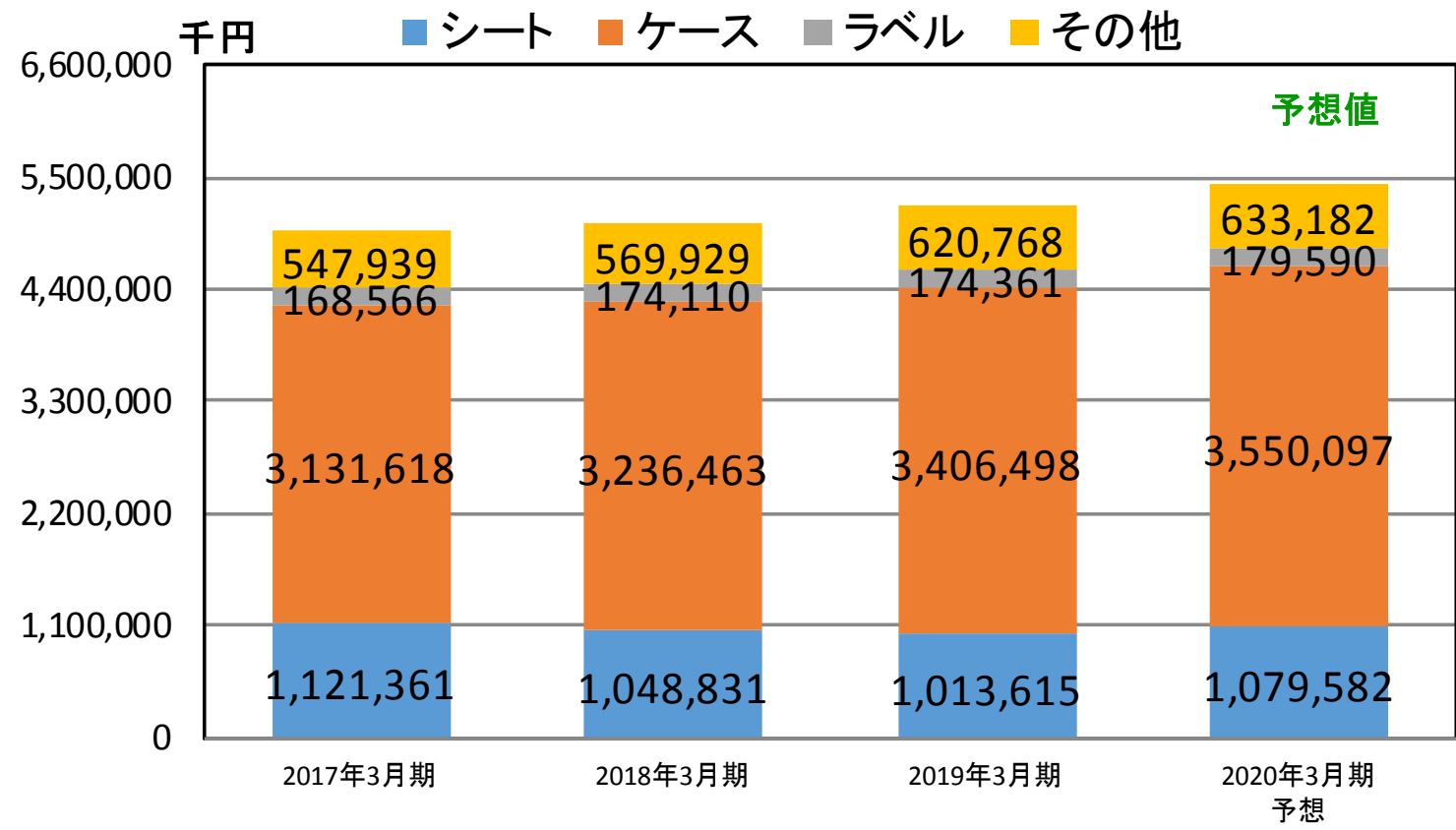
※売上高5,442百万円(前期比4.4%増)、営業利益229百万円(同13.6%増)、経常利益228百万円(同12.5%増)及び当期純利益137百万円(同12.9%増)を計画しております。



	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
売上高	4,969	5,029	5,215	5,442
経常利益	400	286	203	228



# 品種別売上高の見通し





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいきます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。